

第43回全国障害者技能競技大会

< 1 2 4 > 縫製 事前公表課題

- 1 課 題 エプロン製作
裁断済みの支給された材料で下図スタイルのエプロンを製作しなさい。
- 2 競技時間 4時間00分
- 3 禁止事項
 - (1) 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはならない。
 - (2) 競技エリアの外からアイコンタクトやジェスチャー等を受けてはならない。
 - (3) 他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。
 - (4) 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。
 - (5) 故意に備品や機材等を毀損させてはならない。
 - (6) 定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
 - (7) 競技中に工具の貸し借りを行ってはならない。
 - (8) 自分で作成した手順書や、メモを書き込んだ事前課題等は競技に持ち込んではならない。アタッチメント等も持ち込んではならない。(作業を補助する型紙の持ち込みは可。)
 - (9) 競技中に、スマートフォン等の通信機器(電卓機能の使用を含む)を使用してはならない。
 - (10) その他、大会運営や競技実施に支障を来す恐れがある行為等をしてはならない。

- 4 注意事項
 - (1) ミシンの調整は、各自で行う。
 - (2) 支給された材料の品名及び数量等が「縫製競技使用用具一覧表」の「2 競技場に準備してあるもの」のとおりであることを確認し、支給された材料に異常等がある場合は、競技開始前に競技委員に申し出ること。
 - (3) 支給材料は、欠陥のない限り再支給はしない。
 - (4) 競技が終了したら競技委員に申し出る。

- 5 仕様
 - (1) 肩ひも：2cmのでき上がり幅で三方に端ミシンステッチをかける。
 - (2) 腰ひも：上下を0.5cm三つ折り縫いし、先は三角始末、三角になるように、中縫い、返してステッチをかける。(「腰ひも参考図」を参照する。) 付け側は4cm上がり巾にタックをとる。
 - (3) ダーツ縫い：中縫いをし、縫い代は中心側へたおす。



(4) ポケット

ポケット口：1cm、2cmで三つ折り縫いとする。

ポケット付け：「ポケットの付け方 図1」を参照する。

端ミシン、押さえ金幅（0.6cm）のダブルステッチとする。

(5) 見返し：見返し布の下側を0.5cm、1cmの三つ折り縫いとする。

(6) 袖ぐりカーブ：1cm折り、袖ぐりから胸のステッチ幅は0.6cmの押え金の幅でかける。

(8) フリル作り：できあがり幅10cm、裾、両端は0.5cmの三つ折り縫いとする。

フリル付け：ギャザーを寄せ、身頃の裾につけ（付け縫い代両端は、脇縫いで挟みつける）押さえ金幅（0.6cm）のステッチをかける。

(9) 脇：1cm、1.5cmで三つ折り縫いとする。ステッチの順序は、フリル付けの後、腰ひもを挟み込み、脇縫いとする。

6 支給材料

(1) 表地（綿ツイル）：1着分

（裁断済みで袖ぐり、フリル上部はロック処理済み、ポケット位置、ダーツ位置、肩、腰ひも位置に印あり）

(2) ミシン糸：1個

縫製競技使用用具一覧表

1 競技者が持参するもの

品名	規格	数量	備考
縫製用具類一式	適宜	適宜	裁ばさみ、小ばさみ、目打ち ものさし、チャコ、ステッチ定規 他必要な補助具等

2 競技場に準備してあるもの

	品名	規格	数量	備考
設 備 類	作業台	1800×900×700程度	1台	1人1台
	ミシン	職業用自動糸切り	1台	
	ボビンケース		1個	上記ミシン使用者のみ
	ボビン		2個	上記使用者のみ
	ミシン針	#11	2本	職業用ミシン針
用 具	アイロン	家庭用スチームアイロン	1台	
	敷布		1枚	
材 料	表地	綿の中厚地（綿ツイル）	1枚分	裁断済み 袖ぐり、土台裾はバイアステープ 接着済み 袖ぐり、フリル上部はロック済み
	ミシン糸	化繊糸 #60	1本	

注1 使い慣れたミシン、アイロンを使用希望の方は持込み可能です。

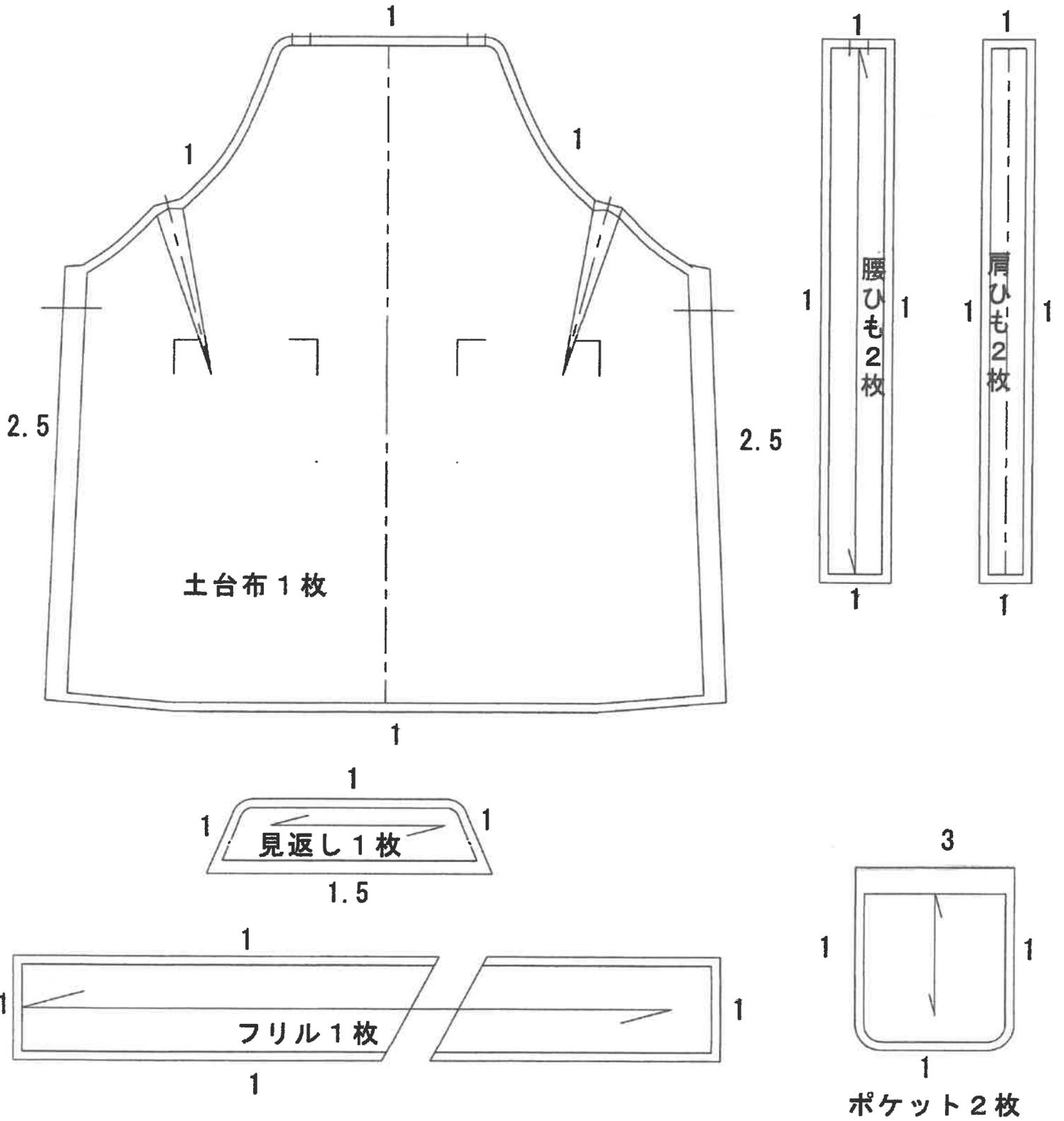
なお、ボビン、ボビンケース、ミシン針は各自でご用意下さい。

注2 自分で作成した手順書や、メモを書き込んだ事前課題等は競技に持ち込む

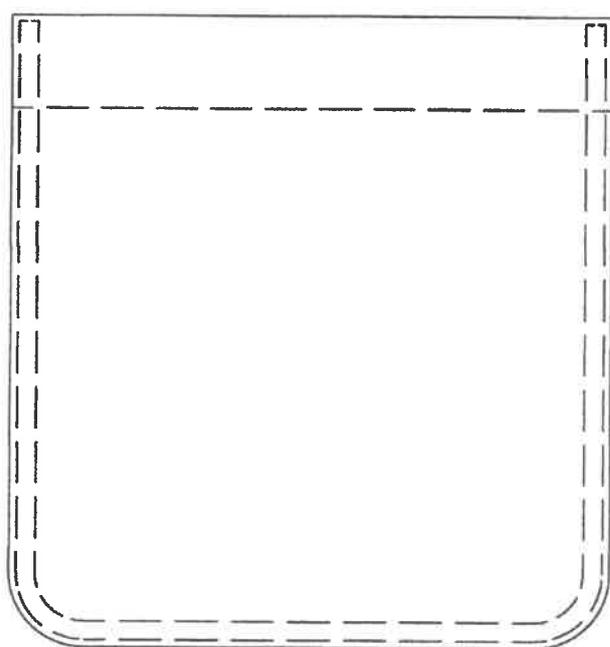
ことができません。作業を補助する型紙の持ち込みは可とします。

アタッチメント等の持ち込みはできません。

エプロン (技能競技大会課題製図)



ポケットの付け方 図 1



縫い始め
縫い終わり
重ね縫い 2 CM

腰ひも参考図

腰ひもの三角始末
の参考図です。

